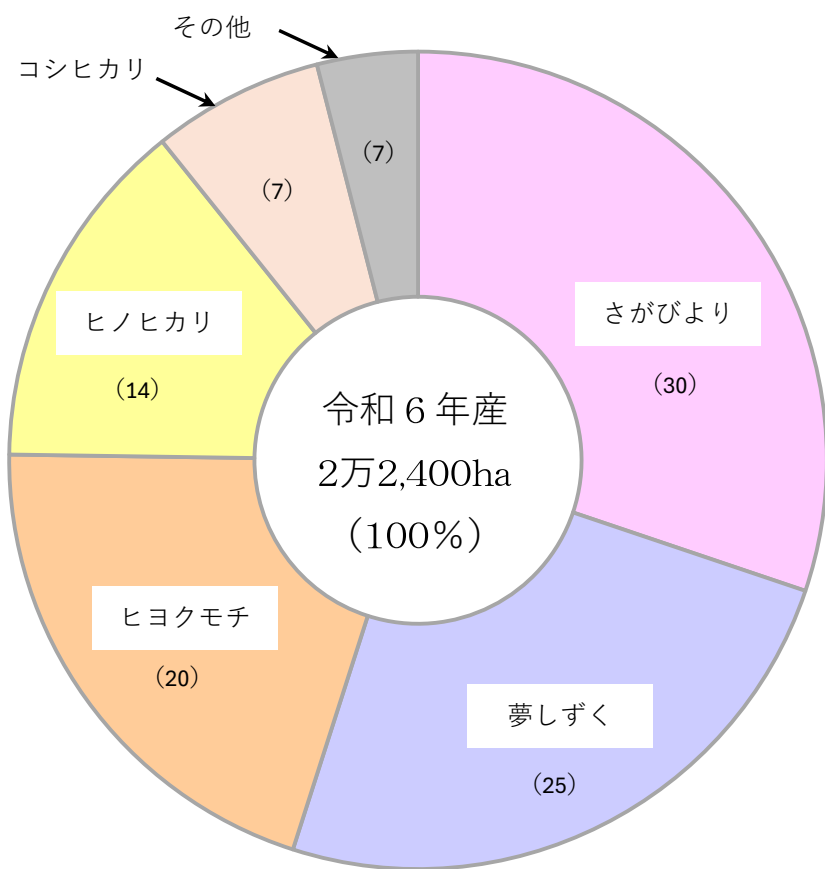


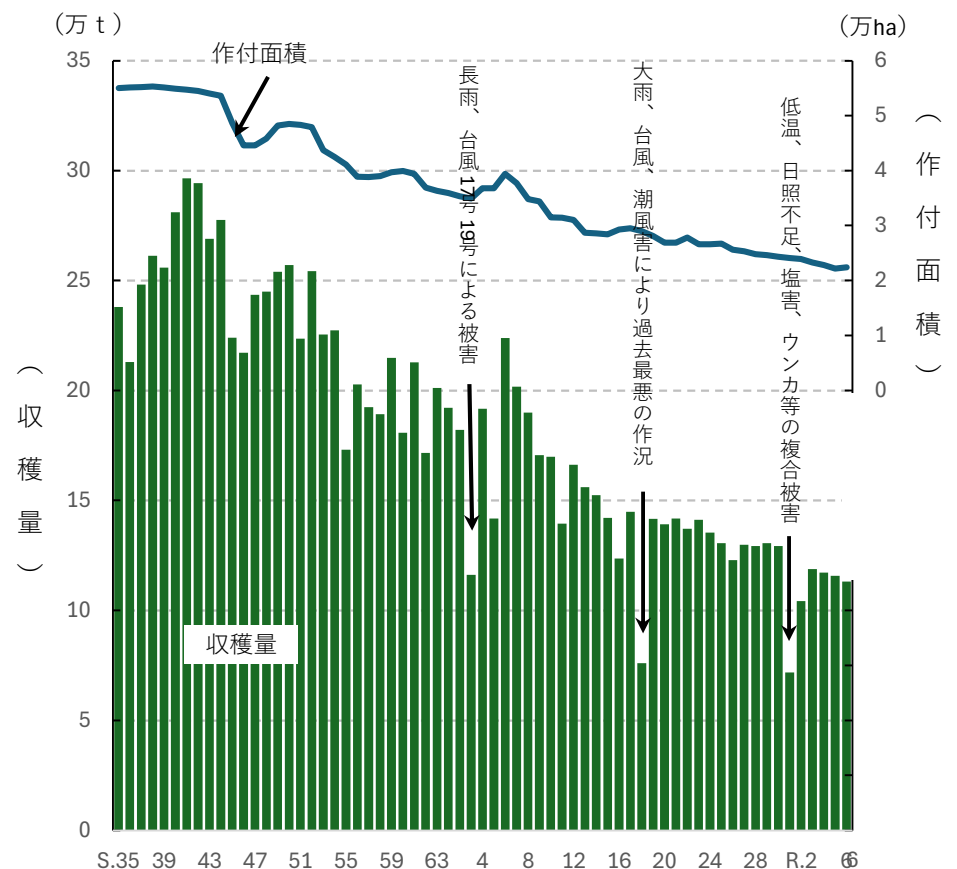
佐賀県の水稲作付と米の収益性

水稲品種別作付面積割合



資料：「稼ぐ!! さがの水田農業発展運動協議会調べ」

水稲収穫量と作付面積の推移



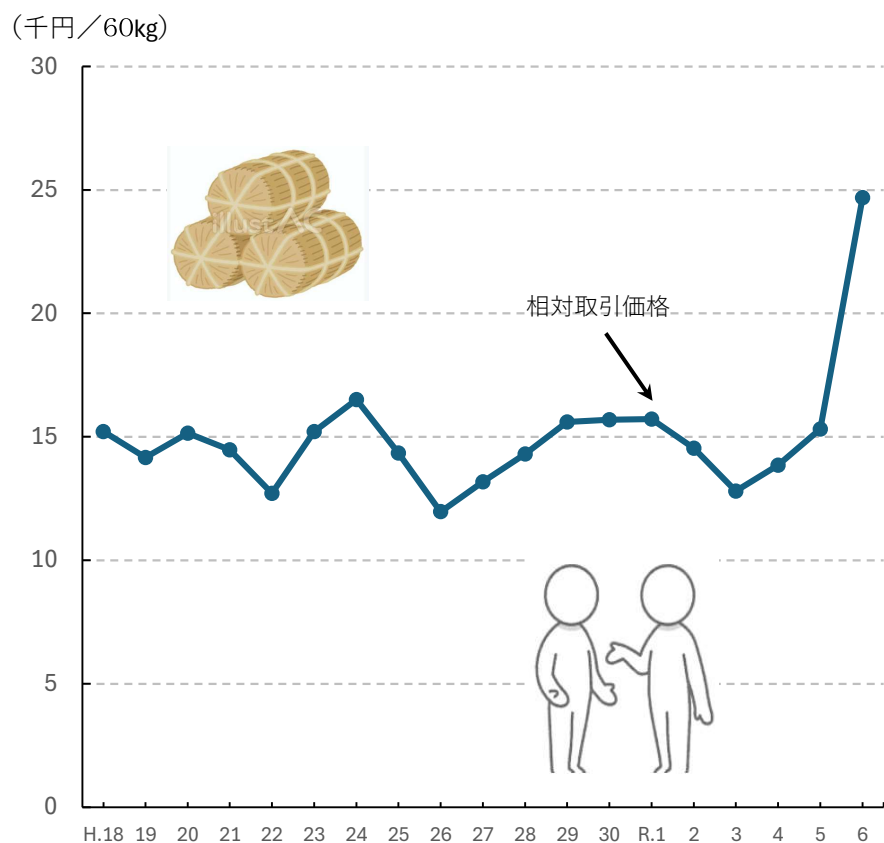
資料：農林水産省統計部「作物統計調査」

佐賀県の令和6年産水稲作付面積は2万2,400haで、品種別にみると「さがびより」と「夢しずく」で55%を占めています。「ヒヨクモチ」は20%を占め、全国でも有数のもち米産地となっています。

また、令和6年産米は全国的な不足感から価格が高騰したため、米の適正価格が注目されています。米の相対取引価格は令和5年産まで1万5,000円(60kg)程度で推移しており、米の作付規模別生産費(60kg当たり)と比較してみると3ha以下の作付規模では、生産費が相対取引価格を上回っています。

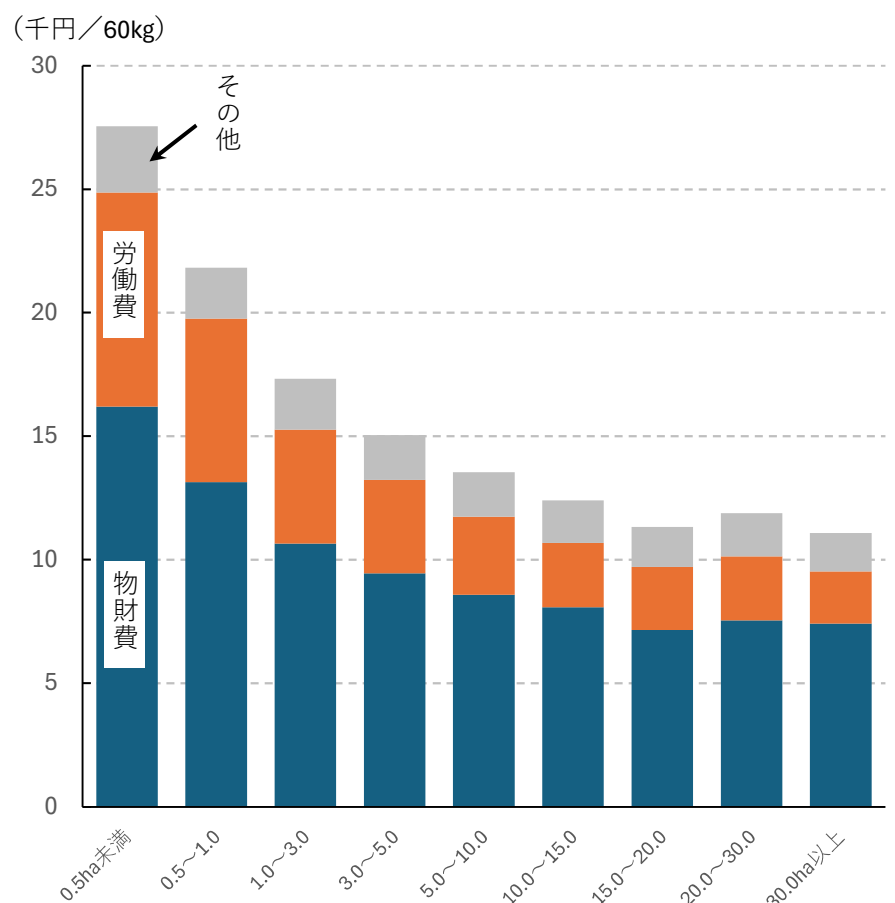


米の相対取引価格(全国の1等米平均価格)



資料：農林水産省「相対取引価格」

米の作付規模別生産費(全国値)
(令和5年産、個別経営体、60kg当たり全算入生産費)



資料：農林水産省統計部「農業経営統計調査」